

## 平成 29 年度第 2 回三島総合病院地域協議会 議事概要

【日 時】平成 30 年 2 月 22 日（木） 13：30 ～ 14：30

【場 所】三島総合病院 第 1 会議室

【出席者】三枝知子（三島市健康推進部健康づくり課長）

関 俊夫（三島市医師会長）

志村 肇（三島市谷田押切町内会役員）

松田義雄（三島総合病院長）、平塚世津子（三島総合病院総看護師長）

樋川洋一（三島総合病院事務長）、椎橋卓人（三島総合病院附属介護老人  
保健施設課長補佐）、青柳昌樹（三島総合病院健康管理センター長）

【議 題】 1. もの忘れ外来について

2. 健診事業について

3. 医師確保について

【概 要】

1. もの忘れ外来について

- ・受診者の年齢などはどのような状況か。  
⇒ 65歳以上の受診者が多く、中心は70歳～80歳の方になります。
- ・もの忘れ外来のスタッフの配置はどうなっているか。  
⇒ 認知症認定看護師が従事し、検査等は理学療法士等が行っている。
- ・もの忘れ外来があることが市民にとって非常に有意義であると思う。経営上多くのスタッフを配置するなど大変だが、時代のニーズでもあり総合病院の一つの強みになり、今後更に伸びていくと思います。  
⇒ 貴重なご意見ありがとうございました。

2. 健診事業について

- ・健診事業において何か新しい取り組みなどありますか。  
⇒ 新しい取り組みでは、脳ドック等を始めオプション検診に力を入れている。  
外国から医療ツーリズム的な形で旅行と併せて健康診断を実施するツアーを3月に受け入れる予定。

3. 医師確保について

- ・救急搬送件数が減っているのので、受入件数が増えるよう十分な体制を整えていただきたい。  
⇒ 救急に携わる医師が減っているが、引続き大学病院等に医師派遣を依頼しているが厳しい状況には変わりません。

- ・地域包括ケア病棟の稼働率は上がっているが、医師不足が問題になってくる。三島市の救急の受け入れが増えれば、患者数も増え、回転率も良くなると思うので、とにかく医師の確保をお願いしたい。

⇒ 医師の確保については、病院としても最大限努力していきたいと考えています。

－以上－